

## 付 属 資 料

1. 調査日程
2. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)
  - 2-1 PDM<sub>0</sub>: 実施協議時 (2003年11月)
  - 2-2 PDM<sub>1</sub>: カウンターパートとの協議 (2004年5月)
  - 2-3 PDM<sub>2</sub>: 中間評価時 (2005年8月)
  - 2-4 PDM<sub>3</sub>: 終了時評価時 (2006年8月)
3. 終了時評価における PDM の変更点
4. プロジェクト関係資料リスト
5. 質問票
6. 主要面談者リスト
7. プロジェクト進捗報告書 (2004年3月)
8. 研修実施者・団体名リスト
9. プロジェクトが実施している研修の評価の考え方
10. カウンターパート研修及び支援機関への研修実績
11. グッド・プラクティス事例集
12. バッド・プラクティス事例集
13. エンパワーメント指標
14. エンパワーメント指標評価分析結果 (各起業グループ)
15. 企業診断
16. Minutes of Meeting (M/M)

## 1. 調査日程

日 付		日 程
Jul. 27	木	ホンジュラス着、JICA ホンジュラス事務所での打合せ
Jul. 28	金	サンタ・ロサ・デ・コパンへ移動
Jul. 29	土	専門家との打合せ、資料作成
Jul. 30	日	専門家との打合せ、資料作成
Jul. 31	月	専門家との打合せ、資料作成
Aug. 1	火	専門家との打合せ、資料作成
Aug. 2	水	サン・ペドロ・スーラ着、レンピーラへ移動 サイト視察（Buenos Aires、Chimis、San Manuel Coloete）レンピーラ県
Aug. 3	木	サイト視察（Tontolo、Cruz Alta、San Manuel Coloete、Olominas）レンピーラ県
Aug. 4	金	コパン・ルイナスへ移動 サイト視察（Agua Caliente） サン・ペドロ・スーラ着、コパン・ルイナスへ移動
Aug. 5	土	サイト視察（ラ・ピンターダ）コパン県 団内打合せ
Aug. 6	日	サイト視察（El Jaral、Planes de le Brea）コパン県 テグシ・ガルパへ移動
Aug. 7	月	在ホンジュラス日本大使館、国際協力技術庁（SETCO）表敬 関係機関との協議
Aug. 8	火	関係機関との協議
Aug. 9	水	関係機関との協議
Aug. 10	木	ミニッツ署名
Aug. 11	金	テグシ・ガルパ発

2. プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

PDM<sub>0</sub> : 実施協議時(2003年11月)

プロジェクト名: ホンデジュラス国地方における女性の特設的小規模起業支援プロジェクト 期間: 2003年11月~2006年10月  
 プロジェクトエリア: コパン県、レンピーラ県、フランシスコモラサン県、バジェ県 ターゲットグループ: プロジェクトサイトの貧困女性

作成日: 2003/05/29

プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
<p><b>上位目標</b></p> <p>1. プロジェクト対象となった貧困女性の生活が向上する。                  2. 他地区でもプロジェクトの経験や成果を活用して貧困女性の起業支援プロジェクトが実施されている。</p>	<p>1. 貧困女性の収入の向上。                  (2) 将来の希望や夢(目標)を持てる貧困女性の数。                  2. 左記プロジェクトの実施数。</p>	<p>1. (1) PRAFの報告書                  (2) 住民の意識調査                  2. PRAFの報告書</p>	
<p><b>プロジェクト目標</b></p> <p>貧困女性の職業能力向上及びカウンタートパーパート機関の能力向上を通じ、プロジェクトサイトで貧困女性が地域のリソースを活用した小規模事業を起業・運営できるようにする。</p>	<p>1. 地域のリソースを活用した起業者・グループ数。                  2. 貧困女性のエンパワメントの達成                  3. 関係機関によるガイドラインに対する評価                  4. プロジェクトの実施プロセス(C/Pの主体性、住民参加度等)</p>	<p>1. プロジェクトレポート                  2. ベースライン調査及び終了時におけるエンパワメント調査の結果                  3. 関係機関からの聞き取り調査の結果                  4. プロセス調査結果</p>	<p>カウンタートパーパートが変更されない。</p>
<p><b>成果</b></p> <p>0. 小規模起業支援にかかると問題点が明らかになる。                  1. 貧困女性と市場のニーズに基づいた小規模起業の計画ができる。                  2. 小規模起業のためのコミュニティ組織が形成される。                  3. 貧困女性が小規模起業に必要な知識及び技術を身につける。                  4. 貧困女性が小規模起業に必要な資金を獲得できる。                  5. 貧困女性が商品の適切な流通経路について知ることができる。                  6. 貧困女性が小規模起業後のアドバイスサービスを利用できる。                  7. プロジェクトの成果がガイドラインと事例集としてまとめられる。</p>	<p>0. C/P及び専門家の問題把握度                  1. 小規模起業計画の策定率と質(策定プロセスを含む)                  2. グループの組織率と質                  3. 研修修了者数(プロジェクトによる認定)                  4. 融資に関する満足度(融資のタイミング含む)                  5. 活用された流通経路の数と質                  6. アドバイスサービスに関する満足度                  7. ガイドライン及び事例集</p>	<p>0. (1)プロジェクトレポート                  (2)C/Pからの聞き取り調査結果                  1. (1)プロジェクトレポート                  (2)各サイトの小規模起業計画                  2. プロジェクトレポート                  3. プロジェクトレポート                  4. 住民の意識調査結果                  5. プロジェクトレポート                  6. 住民の意識調査結果                  7. ガイドライン及び事例集の成果物</p>	<p>プロジェクトの予算が毎年安定的に計上される。                  PRAFが地方事務所強化のための分権化を促進する。</p>

活動	投入	前提条件
<p>0. PRAF による貧困女性の小規模起業支援に関する現状調査を実施する。</p> <p>0-1. 小規模起業支援にかかる問題の詳細分析を行う。</p> <p>0-2. プロジェクトサイト候補の貧困状況調査を実施する。</p> <p>1. プロジェクトサイト選定のための検討を行う。</p> <p>1-0. 物的及び人的資源を把握するための地域調査を実施する。</p> <p>1-1. 貧困女性のニーズを把握する。</p> <p>1-2. 地元資源を把握する。</p> <p>1-3. 市場調査を実施する。</p> <p>1-4. 貧困女性の参加によって計画を策定する。</p> <p>2. 組織化に関する調査・啓発活動を実施する。</p> <p>2-1. 組織化のための集会を開催する。</p> <p>2-2. 組織のルールをつくる。</p> <p>2-3. 持続的な組織運営のための支援を行う。</p> <p>3. 地元のインストラクター・プロモーターへの研修を行う。</p> <p>3-1. 自己啓発と動機付け(ジェンダー等)にかかる研修を行う。</p> <p>3-2. 小規模起業(事業運営・マイクロファイナンス・法的手続き等)の研修を行う。</p> <p>3-3. 職業技術にかかる研修を行う。</p> <p>3-4. 研修にかかるモニタリング活動を行う。</p> <p>4. 融資制度について改善点を明確化する。</p> <p>4-1. 地元ニーズに合った融資制度を検討する。</p> <p>4-2. 小規模起業のための融資制度を改善する。</p> <p>4-3. 融資制度のモニタリング活動を行う。</p> <p>5. 流通経路に関する調査を実施する。</p> <p>5-1. 現況の流通経路の改善点を明確化する。</p> <p>5-2. 業種と分野ごとの流通経路について貧困女性に対する訓練を行う。</p> <p>6. 技術的アドバイスを行う。(特に商品化について)。</p> <p>6-1. 事業運営についてアドバイスを行う。</p> <p>6-2. 小規模企業経営に関する情報を提供する。</p> <p>7. プロジェクト各活動の評価を行う。</p> <p>7-1. 各成果にかかわる事例集を作成する。</p> <p>7-2. 小規模起業支援のための各種ガイドラインを作成する。</p>	<p>日本</p> <p>＜専門家派遣＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期専門家</li> <li>1. チーフアドバイザー</li> <li>2. 研修計画</li> <li>3. 参加型開発/ジェンダー/業務調整</li> </ul> <p>・短期専門家 必要に応じ、</p> <p>＜研修員受け入れ＞ 年間若干名</p> <p>＜機材＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に必要な機材</li> <li>・専門家の活動に必要な機材</li> </ul> <p>ホンジュラス</p> <p>＜人材＞</p> <p>PRAF</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトダイレクター</li> <li>・プロジェクトマネージャー</li> <li>・ファイナンスサービスオフィサー</li> <li>・ノンファイナンスサービスオフィサー</li> <li>・ドライバー</li> <li>・セクレタリー</li> </ul> <p>INFOP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンターパート</li> </ul> <p>＜建物、施設＞</p> <p>＜オフィス備品、消費財＞</p> <p>＜ローカルコスト＞</p> <p>＜マイクロエンタープライズのためのファンド＞</p>	<p>前提条件</p> <p>融資財源が確保される。</p>

\* PDMの各活動についてはプロジェクト実施ユニット(Project Technical Unit)が柔軟に変更できるものとする。PDMのその他の部分については、関係機関との相談の上、変更できるものとする。

PDM<sub>1</sub> : カウンタートパートとの協議 (2004年5月)

プロジェクト名: ホンジュラス地方女性のための小規模起業支援プロジェクト 期間: 2003年11月～2006年10月

プロジェクトエリア: コパン県、オコテペケ県、レンピーラ県、インティブカ県 ターゲットグループ: プロジェクトサイトの貧困女性

作成日: 2004/04/23

プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
<p><b>上位目標</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>このプロジェクトの活動と成果を活用し、対象地域の貧困女性の生活が向上する。</li> <li>同様のアプローチが他地域で実施される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>生活条件が向上した女性の数</li> <li>プロジェクトのガイドラインを活用した小規模事業実施数。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>受益者を対象とした生活条件に関する調査</li> <li>PRAFを含む関連機関のレポート</li> </ol>	
<p><b>プロジェクト目標</b></p> <p>プロジェクトサイトの女性受益者が地域のリソースを活用した小規模事業を起業・運営できるようにする。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2006年までに地元資源を利用した20の自主的な小規模事業が設立され、助言を受けられる</li> <li>小規模事業運営の能力を身につけた女性の数</li> <li>生活改善に資するエンパワメント</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト最終報告書</li> <li>プロジェクト実施についての検証ドキュメント</li> </ol>	<p>カウンタートパートが変更されない。</p>
<p><b>成果</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>明確になった条件を基にプロジェクトサイトが選定され、プロジェクトの実施計画が定められる。</li> <li>小規模起業のビジョンを持った女性受益者グループが組織される。</li> <li>女性受益者が自主的な小規模事業の起業・運営に必要な知識及び技術を身につける。</li> <li>PRAFの機材貸与と融資によって小規模事業が促進される。</li> <li>小規模事業を阻害する問題が解決される。</li> <li>小規模事業を支援するカウンタートパートの能力が強化される。</li> <li>プロジェクトの将来に実施される目的でプロジェクトのプロセスと経験が蓄積される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト実施のために20サイトが決定される。</li> <li>他機関の類似プロジェクトの把握</li> <li>2004年5月までにプロジェクト・ドキュメントが策定される。</li> <li>小規模起業の意欲を示し、組織化された20のグループ</li> <li>20の実現可能な小規模起業計画</li> <li>2006年までに20の小規模事業が有効に機能する能力を身につける。</li> <li>小規模事業の発展のための受益者の参加と充足度</li> <li>2006年までにPRAFのクレジットシステムに組み込まれた小規模事業の数</li> <li>PRAFの機材貸与と融資の適切な使用と運用</li> <li>生活の改善のために研修を受けた女性の数</li> <li>小規模事業の外的脅威に対処するための活動数</li> <li>研修を受けたカウンタートパートの数</li> <li>2006年までに研修を受けたカウンタートパートによって支援され、助言を受けた20の小規模事業</li> <li>2006年までにプロジェクト実施についての検証ドキュメントが整備される。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト定期報告書</li> <li>他プロジェクト訪問報告書及び事例研究報告書</li> <li>プロジェクト・ドキュメント</li> <li>プロジェクト定期報告書</li> <li>小規模起業計画書</li> <li>プロジェクト定期報告書</li> <li>能力向上のプロセス評価</li> <li>小規模事業の進捗報告書</li> <li>研修報告書</li> <li>グループ評価調査</li> <li>PRAFの融資評価報告書</li> <li>プロジェクト定期報告書</li> <li>小規模事業の進捗報告書</li> <li>プロジェクト報告書</li> <li>受益者の生活条件に関する調査</li> <li>研修評価報告書</li> <li>カウンタートパートの活動報告書</li> <li>ガイドラインの分析結果</li> <li>事例研究報告書</li> <li>終了時調査の分析結果</li> <li>フィールド調査結果</li> <li>地域特性に応じたジェンダーエンパワメント指標</li> </ol>	<p>プロジェクトの予算が毎年安定的に計上される。</p> <p>PRAFが地方事務所強化のための分権化を促進する。</p>

活動	日本	投入	PDM (1)
<p>0. PRAF が実施している小規模支援事業を把握する。</p> <p>0-1. PRAF が実施している小規模支援事業を把握する。</p> <p>0-2. プロジェクトサイト候補のコミュニティ分析調査を実施する。</p> <p>0-3. プロジェクトサイト県の市場調査を実施する。</p> <p>0-4. プロジェクトサイト県の機関の活動内容を把握し、協力の可能性を検討する。</p> <p>1. 女性受益者の組織形成・強化のための啓発活動及び必要な情報提供を行う。</p> <p>1-1. 女性受益者の組織形成・強化のための啓発活動及び必要な情報提供を行う。</p> <p>1-2. 生産業種を決定するためのワークショップを実施する。</p> <p>1-3. 女性受益者が起業計画を策定するためにワークショップを実施する。</p> <p>2. 各グループのニーズに基づいた研修計画を策定する。</p> <p>2-1. 各グループのニーズに基づいた研修計画を策定する。</p> <p>2-2. 自立的な小規模事業が起業するために社会的訓練及び助言を行う。</p> <p>2-3. 小規模事業のための職業技術訓練を実施する。</p> <p>2-4. 小規模事業運営の訓練及び助言を行う。(運営管理方法、法的手続き、流通経路)</p> <p>2-5. 女性受益者が小規模事業発展計画を策定するためにワークショップを実施する。</p> <p>2-6. 小規模事業に対する助言サービスを実施する。</p> <p>3. 女性受益者を対象に融資の利用及び運営に関する研修を行う。</p> <p>3-1. 女性受益者を対象に融資の利用及び運営に関する研修を行う。</p> <p>3-2. 小規模事業に融資及び機材の貸与を行う</p> <p>3-3. 融資に関する指導・助言を行う。</p> <p>4. 小規模起業を阻害する脅威を明確にし、解決案を提案する。</p> <p>4-1. 小規模起業を阻害する脅威を明確にし、解決案を提案する。</p> <p>4-2. 女性受益者の生活の質の向上のために研修及び助言を行う。</p> <p>5-1. カウンターパートに対し、女性グループの形成・強化のための研修を行う。</p> <p>5-2. 起業した女性受益者へ技術的助言を提供するためにカウンターパートを対象とした研修を行う。</p> <p>5-3. 起業した女性受益者の事業運営に必要なアドバイスを行うためにカウンターパートを対象とした研修を行う。</p> <p>6-1. プロジェクトサイトの各活動の評価を行う。</p> <p>6-2. プロジェクト活動のモニタリングとフォローアップを行う。</p> <p>6-3. プロジェクトの成果にかかわる報告書を蓄積する。</p> <p>6-4. プロジェクトの成功例と失敗例の事例研究を実施する。</p> <p>6-5. 地域特性に応じたジェンダーエンバンプワメント指標を作成する。</p>	<p>＜専門家派遣＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期専門家</li> <li>1. チーフアドバイザー</li> <li>2. 研修計画</li> <li>3. 参加型開発/ジェンダー/業務調整</li> </ul> <p>・短期専門家 必要に応じ、</p> <p>＜研修員受け入れ＞ 年間若干名</p> <p>＜機材＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に必要な機材</li> <li>・専門家の活動に必要な機材</li> </ul>	<p>＜人材＞</p> <p>PRAF</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトダイレクター</li> <li>・プロジェクトマネージャー</li> <li>・ファイナンスサービスオフィサー</li> <li>・ノンファイナンスサービスオフィサー</li> <li>・ドライバー</li> <li>・セクレタリー</li> </ul> <p>INPOP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北西地域サブディレクター</li> </ul> <p>＜建物、施設＞</p> <p>＜オフィス備品、消費財＞</p> <p>＜ローカルコスト＞</p> <p>＜小規模事業のためのファンド＞</p>	<p>前提条件</p> <p>融資財源が確保される。</p>

\* PDMの各活動についてはプロジェクト実施ユニット(Project Technical Unit)が柔軟に変更できるものとする。PDMのその他の部分については、関係機関との相談の上、変更できるものとする。

PDM<sub>2</sub>: 中間評価時 (2005年8月)  
 プロジェクト名: ホンジュラス地方女性のための小規模起業支援プロジェクト

期間: 2003年11月~2006年10月

実施地域: Copán 県, Lempira 県

裨益者: 貧困地域に居住する女性

作成日: 22/09/2005

上位目標 プロジェクトの要約	指標	入手数	外部条件
1. このプロジェクトの活動と成果を活用し、対象地域の貧困女性の生活が向上する。 2. 同様のアプローチが他地域で実施される。  プロジェクト目標 プロジェクトサイトの女性受益者が地域のリソースを活用した小規模事業を起業・運営できるよ うになる。	1. 生活条件が向上した女性の数 プロジェクトのガイドラインを活用した小規模 事業実施数  1. 2006年までに地元資源を利用した17の自立的な 小規模事業が設立され、助言を受ける 2. 小規模事業運営の能力を身につけた女性の数 3. 生活様式(行動、意識)に変化が見られた女性の 数	1. 受益者を対象とした生活条件に関する調 査 2. PRAFを含む関連機関のレポート  1. プロジェクト最終報告書 2. プロジェクト実施についての検証ドキュ メント 3. エンパワメント指標の評価	カウンターパートが変更されない。
<b>成果</b> 0. 明確になった条件を基にプロジェクトサイトが運営され、プロジェクトの実施計画が定めら れる。 1. 小規模起業のビジョンを持った女性受益者グループが組織される。 2. 女性受益者が自立的な小規模事業の起業・運営に必要な知識及び技術を身につける。 3. PRAFの機材供与/融資プログラムによって小規模起業が資本化される。 4. 小規模事業を阻害する主要な問題を解決するための経験が蓄積される。 5. 小規模事業を支援するカウンターパートの機能が強化される 6. 将来のプロジェクトに実施される目的で本プロジェクトのプロセスと経験が蓄積される。	0. (1)プロジェクト実施のために12サイトが 決定される。 (2)他機関の類似プロジェクトの把握 (3)2004年5月までにプロジェクト・ドキュメント が策定される。 1. (1)小規模起業の意欲を示し、組織化された17のグ ループ (2)小規模起業計画を展開するグループ数 2. (1)2006年までに17のグループが小規模事業を有 効に運営する (2)小規模事業の発展のための受益者の参加度と充 足度 (3)女性のエンパワメント度 3. (1)2006年までにPRAFの融資または機材を利用し た小規模企業の数 4. (1) 小規模事業の外的的及び内的脅威に対応するた めの活動数 (2) 研修、助言を受けた小規模企業、女性の数 5. (1)研修を受けたカウンターパートの数 (2)プロモーターによる業務が事前に定められた基 準を満たす 6. 2006年までにプロジェクト実施についての検証ド キュメントが準備される。	0. (1)プロジェクト定期報告書 (2)他プロジェクト訪問報告書及び事例研 究報告書 (3)プロジェクト・ドキュメント  1. (1)プロジェクト定期報告書 (2)小規模起業計画書 (3)裨益者の生活状況と意識に対するアン ケート 2. (1)プロジェクト定期報告書 (2)裨益者の活動に対するアンケート結果 (3)小規模事業の進捗報告書 (4)研修報告書 (5)エンパワメント指標のモニタリング結果 3. (1)グループ評価調査 (2)PRAFの融資評価報告書 (3)プロジェクト報告書 (4)小規模事業の進捗報告書 4. (1)プロジェクト定期報告書 (2)研修報告書 5. (1)プロジェクト報告書 (2)研修評価報告書 (3)プロモーターの活動に関するモニタリ ング、評価 6. (1)ガイドラインの分析結果 (2)事例研究報告書 (3)終了時調査の分析結果 (4)フィールド調査結果	プロジェクトの予算が毎年安定的に計上 される。 PRAFが地方事務所強化のための分権化を 促進する。

\*「資本化される」とは、小規模起業を実施するための資本が準備されることを意味する

活動	投入	収入
<p>0. PRAF が実施している小規模支援事業を把握する。</p> <p>0-1. プロジェクトサイト候補のコミュニティ分析調査を実施する。</p> <p>0-2. プロジェクトサイト候補の市場調査を実施する。</p> <p>0-3. プロジェクトサイト候補の機関連絡性を把握し、協力の可能性を検討する。</p> <p>1. 女性受益者の組織形成・強化のための啓発活動及び必要な情報提供を行う。</p> <p>1-1. 生産業種を決定するためのワークショップを実施する。</p> <p>1-2. 女性受益者が起業計画を策定するためにワークショップを実施する。</p> <p>2. 各グループのニーズに基づいた研修計画を策定する。</p> <p>2-1. 自立的な小規模事業が起業するために社会的訓練及び助言を行う。</p> <p>2-2. 小規模事業のための職業技術訓練を実施する。</p> <p>2-3. 小規模事業運営の訓練及び助言を行う。(運営管理方法、法的手続き、流通経路)</p> <p>2-4. 女性受益者が小規模事業発展計画を策定するためにワークショップを実施する。</p> <p>2-5. 小規模事業に対する助言サービスを実施する。</p> <p>2-6. 小規模事業に応じたエンバワメント指標が適用される。</p> <p>2-7. 各グループのニーズに基づいた研修計画を策定する。</p> <p>3. 女性受益者を対象に融資/機材の利用及び運営に関する研修を行う。</p> <p>3-1. 小規模事業に融資/機材の貸与を行う</p> <p>3-2. 融資/機材に関する指導・助言を行う。</p> <p>4-1. 小規模事業を監督する育成を明確にし、解決案を提案する。</p> <p>4-2. 女性受益者の生活向上のための研修及び助言をする。</p> <p>5-1. カウンターパートに対し、女性グループの形成・強化のための研修を行う。</p> <p>5-2. 起業した女性受益者へ技術的助言を提供するためにカウンターパートを対象とした研修を行う。</p> <p>5-3. 起業した女性受益者の事業運営に必要なアドバイスを行うためにカウンターパートを対象とした研修を行う。</p> <p>6-1. プロジェクトサイトの各活動の評価を行う。</p> <p>6-2. プロジェクト活動のモニタリングとフォローアップを行う。</p> <p>6-3. プロジェクトの成果にかかわる報告書を蓄積する。</p> <p>6-4. プロジェクトの成功例と失敗例の事例研究を実施する。</p>	<p>&lt;専門家派遣&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期専門家             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. チーフアドバイザー</li> <li>2. 研修計画</li> <li>3. 参加型開発/ジェンダー/業務調整</li> </ol> </li> <li>・短期専門家             <ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じ、</li> <li>&lt;研修員受け入れ&gt;年間若干名</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;機材&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に必要な機材</li> <li>・専門家の活動に必要な機材</li> </ul>	<p>&lt;人材 &gt;</p> <p>PRAF</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトダイレクター</li> <li>・プロジェクトマネージャー</li> <li>・ファイナンススーパーバイザー</li> <li>・ノンファイナンススーパーバイザー</li> <li>・ドライバー</li> <li>・セクレタリー</li> </ul> <p>INPOP</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北西地域サブダイレクター</li> </ul> <p>&lt;建物、施設&gt;</p> <p>&lt;オフィス備品、消費財&gt;</p> <p>&lt;ローカルコスト&gt;</p> <p>&lt;小規模事業のためのファンド&gt;</p> <p>融資財源が確保される</p>

\* PM の内容は必要に応じて修正される。PM の”活動”は UTP の決定に従って柔軟に修正することができる。その他の PM の部分についても関連する機関との協議によって修正することができる。



PDM<sub>3</sub>: 終了時評価時 (2006年8月)  
 プロジェクト名: ホンジュラス地方女性のための小規模起業支援プロジェクト  
 期間: 2003年11月~2006年10月  
 実施地域: Copán 県, Lempira 県  
 裨益者: 貧困地域に居住する女性

作成日: 04/08/2006

上位目標 プロジェクトの要約	指標	入手手段	外部条件
プロジェクトの要約 1. 対象社会の人々のエンパワメントが達成される。 2. 同様のアプローチが他地域で実施される。	各グループにおいて、利潤が得られる 女性の生活様式(行動、意識)にポジティブな変化が見られる プロジェクトのガイドラインを活用した小規模事業実施数 対象社会の人々の意識・行動の変化 対象社会そのものの変化	・ 曉簿 ・ 女性グループの活動記録 ・ エンパワメント指標の評価 ・ 関係する機関の報告書 ・ エンパワメント指標の評価	・ 市場へのアクセスが維持される ・ 製品の継続的な需要があり、顧客が定着する ・ PRAF によるグループへの支援が維持される ・ 対象地域が経済的に悪化しない ・ コミュニティのグループに対する支援が継続される ・ グループが社会的利益を解消するために行なっている取組について、活動を妨げるコミュニティ内の抵抗勢力がない ・ 他地域において、小規模起業の実施を希望する女性グループがいる ・ 関係機関において、他地域でプロジェクトのモデルを普及するための人員が確保される ・ 関係機関において、他地域でプロジェクトのモデルを普及するための財源が確保される ・ 関係機関において、他地域でプロジェクトのモデルを普及するための組織体制が確立される
プロジェクト目標 プロジェクトサイトの女性受益者が地域のリソースを活用した小規模事業を起業・運営できようになる。	・ 各グループにおいて、活動維持に必要な売上げ、一定の収入が得られる (起業の内容に特化し、エンパワメント指標は上位目標をはかる指標とする)	・ プロジェクト最終報告書 ・ プロジェクト実施についての検証ドキュメント ・ メンバーへのインタビュー ・ 小規模事業実施報告書	・ カウンターパートが変更されない。 ・ 女性グループが事業運営することについて、継続的に家庭の理解を得られる ・ 女性グループの組織体系が維持、拡大される ・ 女性グループの活動が自主発展的に継続される ・ 女性グループの活動の価値についての理解がコミュニティに広がる ・ コミュニティによりグループの活動が支援される ・ PRAF の政策が継続される ・ 関係機関において、グループの活動を支援するための人員が確保される ・ 関係機関において、グループの活動を支援するための組織体制が確立される ・ 関係機関において、グループの活動を支援するための予算が確保される ・ 関係機関により事業運営のために必要な研修が自主継続される ・ 関係機関によりプロジェクトの成果の他の地域への普及の取組みが開始される ・ 関係機関により普及のための課題が把握される ・ ガイドラインが更新・維持される ・ 融合するグループが存在しない

<p><b>成果</b></p> <p>0. 明確になった条件を基にプロジェクトサイトが選定される。</p> <p>1. 小規模起業のビジョンを持った女性受益者グループが組織され、実施計画が定められる。</p> <p>2. 女性受益者が自立的な小規模事業の起業・運営に必要な知識及び技術を身につける。</p> <p>3. 起業に必要な機材が準備される</p> <p>4. 女性グループが起業・運営を始める。</p> <p>5. カウンターパートをはじめとした小規模事業を支援する関連機関および人材の能力が強化される。</p> <p>6. 将来のプロジェクトに実施される目的で本プロジェクトのプロセスと経験が蓄積される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2004年5月までにプロジェクト・ドキュメントが策定される。</li> <li>・小規模起業計画を展開するグループ数やその特徴などの一覧表ができる。</li> <li>・活動目標や課題などが明確に設定される。</li> <li>・実施研修の数、内容、参加者数、充足度</li> <li>・研修内評価の結果から参加者の小規模事業実施に関わる能力向上が認められる。</li> <li>・2006年までにPRAFの融資または機材を利用した小規模企業の数</li> <li>・2006年までに地元資源を利用した17の自立的な小規模事業が設立され、助言を受ける</li> <li>・研修を受けた人数</li> <li>・プロモーターや講師による業務が事前に定められた基準を満たす</li> <li>・プロジェクト終了時までに各種ドキュメントが作成される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクト定期報告書</li> <li>・他プロジェクト訪問報告書及び事例研究報告書</li> <li>・プロジェクト・ドキュメント</li> <li>・プロジェクト定期報告書</li> <li>・小規模起業計画書</li> <li>・裨益者の生活状況と意識に対するアンケート</li> <li>・研修報告書</li> <li>・裨益者の研修に対するアンケート結果</li> <li>・プロジェクト定期報告書</li> <li>・グループ評価調査</li> <li>・PRAFの融資評価報告書</li> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・小規模事業の進捗報告書</li> <li>・プロジェクト定期報告書</li> <li>・研修報告書</li> <li>・プロジェクト報告書</li> <li>・研修評価報告書</li> <li>・プロモーターの活動に関するモニタリング、評価</li> <li>・ガイドライン</li> <li>・事例研究報告書(事例集)</li> <li>・終了時調査の分析結果</li> <li>・フィードバック調査結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトの予算が毎年安定的に計上される。</li> <li>・PRAFが地方事務所強化のための分権化を促進する。</li> </ul>
---	---	--	---

活動	投入	
<p>0. 0-1. PRAFが実施している小規模支援事業を把握する。 プロジェクトサイト候補のコミュニケーション調査を実施する。 0-2. プロジェクトサイト候補の市場調査を実施する。 0-3. プロジェクトサイト候補の市場調査を実施する。 0-4. プロジェクトサイト候補の市場調査を実施し、協力の可能性を検討する。</p> <p>1. 1-1. 女性受益者の組織形成・強化のための啓発活動及び必要な情報提供を行う。 1-2. 生産業種を決定するためのワークショップを実施する。 1-3. 女性受益者が起業計画を策定するためにワークショップを実施する。</p> <p>2. 2-1. 各グループのニーズに基づいた研修計画を策定する。 2-2. 自立的な小規模事業が起業するために社会的訓練及び助言を行う。 2-3. 小規模事業のための職業技術訓練を実施する。 2-4. 小規模事業運営の訓練及び助言を行う。(運営管理方法、法的手続き、流通経路) 2-5. 女性受益者が小規模事業発展計画を策定するためにワークショップを実施する。 2-6. 小規模事業に対する助言サービスを実施する。</p> <p>3. 3-1. 小規模事業に機材の貸与を行う 3-2. 機材に関する指導・助言を行う。</p> <p>4-1. 小規模起業にあたり、製造、販売に必要な支援を行う。 4-2. 小規模起業を阻害する脅威を明確にし、解決案を提案する。 4-3. 地域特性に応じたエンバワメント指標が適用される。</p> <p>5. 5-1. カウンタートパートをはじめとした小規模事業を支援する関連機関および人材に対し、女性グループの形成・強化のための研修を行う。 5-2. 起業した女性受益者へ技術的助言を提供するために、カウンタートパートをはじめとした小規模事業を支援する関連機関および人材を対象とした研修を行う。 5-3. 起業した女性受益者の事業運営に必要なアドバイザーを行うために、カウンタートパートをはじめとした小規模事業を支援する関連機関および人材を対象とした研修を行う。</p> <p>6. 6-1. プロジェクトサイトの各活動のモニタリングとフォローアップを行う。 6-2. プロジェクトの成功例と失敗例の事例集を作成する。 6-3. プロジェクトの成果にかかると報告書を蓄積する。 6-4. とりまとめのガイドラインを作成する。</p>	<p>＜専門家派遣＞ ・長期専門家 1. チューブアドバイザー 2. 研修計画 3. 参加型開発/ジェンダー/業務調整</p> <p>・短期専門家 必要に応じ、 ＜研修員受け入れ＞ 年間若千名</p> <p>＜機材＞ ・研修に必要な機材 ・専門家の活動に必要な機材</p>	<p>＜人材＞ PRAF ・プロジェクトダイレクター ・プロジェクトマネージャー ・ファインテンスサービスオフィサー ・ノンファインテンスサービスオフィサー ・ドライバー ・セクレタリー</p> <p>INFOP ・北西地域サブダイレクター</p> <p>＜建物、施設＞ ＜オフィス備品、消費財＞ ＜ローカルコスト＞ ＜小規模事業のためのファンド＞</p>
	<p><b>前提条件</b> 融資財源が確保される</p>	

\* PMの内容は必要に応じて修正される。PMの”活動”はUTPの決定に従って柔軟に修正することができ、その他のPMの部分についても関連する機関との協議によって修正することができる。

### 3. 終了時評価におけるPDMの変更点

項目	PDM2	PDM3	改定理由
上位目標			
1		対象社会の人々のエンパワーマンメントが達成される。	起業を通じて女性のエンパワーマンメントが女性を取り囲む人々のエンパワーマンメントにつながることをわかってきたこと、そしてそれが要因女性を含む社会全体の形成・改変・発展につながるべくと見え、上掲目標としての表現を「対象社会の人々がエンパワーマンメントされる」に改めることとした。
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>このプロジェクトの活動と成果を活用し、対象地域の貧困女性の生活が向上する。</li> <li>生活条件が向上した女性の数</li> <li>プロジェクトのガイドラインを活用した小規模事業実施数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループにおいて、利得が得られる</li> <li>女性の生活様式(行動、意識)にポジティブな変化が見られる</li> <li>プロジェクトのガイドラインを活用した小規模事業実施数</li> <li>対象社会の人々の意識・行動の変化</li> <li>対象社会そのものの変化</li> </ul>	生活条件の向上について、起業活動による利得が得られ、生活様式にポジティブな変化が現れることと定義している。また、上位目標が「対象社会のエンパワーマンメントの達成」としてのことから、対象社会の変化を指標としてしている。
入手手段	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者を対象とした生活条件に関する調査</li> <li>PRAFを登録機関のレポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性グループの活動記録</li> <li>エンパワーマンメント指標の評価</li> <li>関係する機関の報告書</li> <li>エンパワーマンメント指標の評価</li> </ul>	プロジェクト目標はあくまで、女性達が小規模起業を運営できるよくなることであることからエンパワーマンメント指標はプロジェクトのインパクトとしてのみならず、上位目標の指標として扱う。
外部条件		<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドラインを活用した関係機関の報告書</li> <li>市場へのアクセスが維持される</li> <li>製品の継続的な需要があり、顧客が定着する</li> <li>PRAFによるグループへの支援が継続される</li> <li>対象地域が経済的に悪化しない</li> <li>コミュニティのグループに対する支援が継続される</li> <li>グループが社会的に利益を導出するために行なっている取組について、活動を妨げるコミュニティ内の抵抗勢力がない</li> <li>他地域において、小規模起業の実施を希望する女性グループがいる</li> </ul>	継続的に上位目標が達成されるための条件を詳細に分析するため、プロジェクトでコントロールできる要因と、外部要因に分類した。継続的に上位目標を達成するために対応すべき事項を関係者間で共通認識を持ち、明確化するため。具体的には、関係機関の財務・組織・人材の安定、対象地域の状況、インフラ整備状況などについて考慮している。
プロジェクト目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループにおいて、他地域でプロジェクトのモデルを普及するための人員が確保される</li> <li>関係機関において、他地域でプロジェクトのモデルを普及するための財源が確保される</li> <li>関係機関において、他地域でプロジェクトのモデルを普及するための組織体制が確立される</li> <li>PRAFの体制が脆弱であり、C/PをPRAFに限定することはプロジェクトの活動を限定する恐れがあるため</li> </ul>	プロジェクト目標の指標は、起業の内容に特化し、グループが活動を維持するための条件を指標とした。
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>2006年までに地元資源を利用した17の自立的な小規模事業が設立され、期首を受け取る</li> <li>小規模事業運営の能力を身につけた女性の数</li> <li>生活様式(行動、意識)に変化が見られた女性の数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各グループにおいて、活動維持に必要な売上げ、一定の収入が得られる</li> <li>メンバーへのインタビュー</li> <li>小規模事業実施報告書</li> <li>女性グループが事業運営することについて、継続的に家庭の理解を得られる</li> <li>女性グループの組織体制が維持、拡大される</li> <li>女性グループの活動が自主発願的に継続される</li> <li>女性グループの活動の価値についての理解がコミュニティに広がる</li> <li>コミュニティによりグループの活動が支援される</li> <li>PRAFの取巻が継続される</li> <li>関係機関において、グループの活動を支援するための人員が確保される</li> <li>関係機関において、グループの活動を支援するための組織体制が確立される</li> <li>関係機関において、グループの活動を支援するための予算が確保される</li> <li>関係機関により事業運営のために必要な研修が自主継続される</li> <li>関係機関によりプロジェクトの成長の他の地域への普及の取組が開始される</li> <li>関係機関により普及のための課題が把握される</li> <li>ガイドラインが更新・維持される</li> <li>関係機関により普及のための課題が把握される</li> <li>統合するグループが存在しない</li> </ul>	プロジェクト目標の評価は、起業の内容に特化し、グループが活動を維持するための条件を指標とした。
入手手段		<ul style="list-style-type: none"> <li>エンパワーマンメント指標の評価</li> </ul>	上位目標でエンパワーマンメントの評価をし、プロジェクト目標では起業に特化した評価をするため。
外部条件			プロジェクト終了時以降においても、自立発展性を確保することが重要となつてくることから、プロジェクトでコントロールできる要因と外部要因を詳細に分析し、上位目標を達成するためにプロジェクト以外で対応すべき事項を関係者間で共通認識を持ち、明確化するため。具体的には、グループの活動体制、コミュニティとの良好な関係維持、関係機関の体制について考慮している。

成果	PM2	PM3	改訂理由
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模起業のビジョンを持った女性受益者グループが組織される。</li> <li>PRARの機材供与/融資プログラムによって小規模起業が資本化される。</li> <li>小規模事業を阻害する主要な問題を解決するための経験が蓄積される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模起業のビジョンを持った女性受益者グループが組織され、実施計画が定められる。</li> <li>起業に必要な機材が準備される。</li> <li>女性グループが起業、運営を始める。</li> <li>カウンタートをはじめとした小規模事業を支援する関連機関および人材の能力が強化される。</li> <li>2004年5月までにプロジェクト・ドキュメントが策定される。</li> <li>小規模起業計画を展開するグループ数とその特徴などの一覧表ができ</li> </ul>	<p>プロジェクトの実際の活動に準じて、記載内容を変更した。</p> <p>PM2で記載されている「資本化」の概念が分かりづらいため、文面を修正した。</p> <p>プロジェクトの実際の活動内容に準じて、記載内容を変更した。</p> <p>「カウンタートパート」の機能強化については抽象的であることから、文面を修正した。</p> <p>PM2の指標には活動内容が含まれていたため、指標の見直しを行った。</p> <p>PM2の指標には活動内容が含まれていたため、指標の見直しを行った。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模起業の意欲を示し、組織化された17のグループ</li> <li>小規模起業計画を展開するグループ数</li> <li>2008年までに17のグループが小規模事業を有効に運営する</li> <li>小規模事業の発展のための受益者の参加度と充足度</li> <li>女性のエンパワメント度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動目標や課題などを明確に設定される。</li> <li>基礎研修の参加者 充足率</li> <li>基礎研修の内容 参加者数 充足率</li> <li>研修内容の振り返り結果から参加者の小規模事業実施に関する能力向上が認められる。</li> <li>2008年までに地元資源を利用した17の自立的な小規模事業が設立され、助言を受ける</li> <li>プロジェクト終了時点で各種ドキュメントが作成される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エンパワメント度については、上位目標部分で評価する。</li> <li>PM2の指標には活動内容が含まれていたため、指標の見直しを行った。</li> </ul> <p>指標の内容が不明確であったため、具体的な文言に修正した。</p> <p>指標の内容が抽象的であったため、具体的な文言に修正した。</p> <p>エンパワメント度については、上位目標部分で評価する。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性受益者を対象に融資の利用及び運営に関する</li> <li>小規模事業に融資及び機材の貸与を行う</li> <li>融資に関する指導・助言を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性受益者を対象に融資の利用及び運営に関する</li> <li>小規模事業に融資及び機材の貸与を行う</li> <li>融資に関する指導・助言を行う。</li> </ul>	<p>本プロジェクトでは、融資を前提とした起業活動を実施していかないことから、融資に関する文言を削除した。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>小規模起業を阻害する脅威を明確にし、解決案を提案する。</li> <li>女性受益者の生活向上のための研修及び助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4-1. 小規模起業にあたり、製造、販売に必要な支援を行う。</li> <li>4-2. 小規模起業を阻害する脅威を明確にし、解決案を提案する。</li> <li>4-3. 地域特性に応じたエンパワメント指標が適用される。</li> </ul>	<p>PM2の記載内容が抽象的であったため、具体的な活動内容を記載した。また、起業グループのエンパワメント状況について調査するために、エンパワメント指標の適用を記載した。</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>カウンタートパートに対し、女性グループの形成・強化のための研修を行う。</li> <li>起業した女性受益者へ技術的助言を提供するためにカウンタートパートを対象とした研修を行う。</li> <li>起業した女性受益者の事業運営に必要なアドバイスを行うためにカウンタートパートを対象とした研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5-1. カウンタートパートをはじめとした小規模事業を支援する関連機関および人材に対し、女性グループの形成・強化のための研修を行う。</li> <li>5-2. 起業した女性受益者へ技術的助言を提供するために、カウンタートパートをはじめとした小規模事業を支援する関連機関および人材を対象とした研修を行う。</li> <li>5-3. 起業した女性受益者の事業運営に必要なアドバイスを行うために、カウンタートパートをはじめとした小規模事業を支援する関連機関および人材を対象とした研修を行う。</li> </ul>	<p>研修の対象がカウンタートパートに限定されていたが、関係機関および人材を含む研修を考慮する。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトサイトの各活動の評価を行う。</li> <li>プロジェクト活動のモニタリングとフォローアップを行う。</li> <li>プロジェクトの成果にかかると失敗例の報告書を蓄積する。</li> <li>プロジェクトの成功例と失敗例の事例研究を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトサイトの各活動のモニタリングとフォローアップを行う。</li> <li>プロジェクトの成功例と失敗例の事例集を作成する。</li> <li>プロジェクトの成果にかかると失敗例の報告書を蓄積する。</li> <li>とりまとめのガイドラインを作成する。</li> </ul>	<p>プロジェクトの成果を取りまとめられたガイドライン作成を加えた。</p>

#### 4. プロジェクト関係資料リスト

No	資料名	作成者
1	グループ設立経緯	プロジェクト
2	内部規定	プロジェクト
3	グッドプラクティス事例集	プロジェクト
4	バッドプラクティス事例集	プロジェクト
5	販売管理フォーマット	九笹
6	商品出納簿フォーマット	九笹
7	出勤簿フォーマット	黒田
8	議題フォーマット	黒田
9	議事録フォーマット	黒田
10	招請状フォーマット	黒田
11	理由書フォーマット	黒田
12	申請書フォーマット	黒田
13	内部規定フォーマット	黒田
14	品質管理フォーマット	小田桐
15	デザインコード化管理フォーマット	小田桐
16	機材管理フォーマット	小田桐
17	在庫管理フォーマット	小田桐
18	ベースライン調査結果概要	黒田
19	企業一覧	黒田
20	エンパワーメント指標調査結果(ベースライン、評価)	黒田
21	参加者分析(就学率、子供の数、メンバー定着率)	黒田
22	戦略計画・活動計画	プロジェクト
23	チョルテカ県での PRAF/Di-Mujer による起業事例	九笹
24	ヤギ登録簿	九笹
25	Brea, 陶器生産グループの診断(2004年10月)	九笹
26	Carroزالon, 陶器生産グループの診断(2005年1月)	九笹
27	コパン・ルイナス市場調査報告	九笹
28	コミュニティーモニタリング・エル・ハラル	九笹
29	GRUTECA, 委託販売報告	九笹
30	INFOP による小規模起業支援事例	九笹
31	NGO 西部地域活動内容及び一覧表	九笹
32	プロモーターへの業務指示書	九笹
33	PRAF の体制及び活動	九笹
34	PRAF 事業として導入可能な小規模企業(提案)	九笹
35	ロデオ村でのトルティージャ生産改善提案	九笹
36	コスト計算	九笹
37	ボレティン発行	プロジェクト
38	プロジェクトサイト選択方法	九笹
39	企業業種選定方法	九笹
40	供与機材リスト	プロジェクト
41	月例起業診断結果とその一覧表	九笹
42	事例集	九笹
43	養蜂研修評価	九笹
44	グアヤバ研修評価	九笹
45	ヤギ屠殺マニュアル	九笹
46	グアヤバ販売報告	九笹
47	エル・サルバドルとの国境貿易	九笹
48	タイ・グアバ販売報告	九笹
49	市役所評価	九笹
50	商品在庫管理・様式	九笹
51	月間販売台帳・様式	九笹
52	注文生産販売・様式	九笹
53	経理簿・様式	九笹
54	原料在庫簿・様式	九笹

55	委託販売・様式	九笹
56	各起業の商品出納状況	九笹
57	5S チェックリスト・様式	九笹
58	国家予算	九笹
59	蜂箱診断表	九笹
60	市役所との協定文書	九笹
61	保護法	九笹
62	地方自治体法及びその規則	九笹
63	タイ・グアバ栽培マニュアル	九笹
64	染色製品・販売事前調査	九笹
65	染色製品・委託販売結果報告	九笹
66	製紙製品・注文生産システム	九笹

※ 専門家の敬称略

## 5. 質問票

(専門家用)

1. プロジェクトで実施された研修などがベースとなり、カウンターパート機関である PRAF や INFOP が他県あるいはコパン県、レンピーラ県のプロジェクトサイト以外で独自に研修を実施し始めたりしていますか。
2. 起業、事業運営自体の結果を取りまとめるに、以下のことについて情報をいただけますか。
  - 1) グループメンバーの定着率はどの程度ですか。
  - 2) 活動を継続するために必要な一定収入はありますか。
  - 3) 商業ベースに乗らなくても、初期設備投資を賄える程度の収入はありますか。
  - 4) 各サイトのバランスシート、帳簿はありますか。
  - 5) 売り上げ集計が現在 7 サイトのみ送られてきております。残りのサイトについては現在集計中でしょうか。
3. 小田桐専門家の第3回活動報告書(2006年3月4日作成)5ページから8ページに「4. 各サイトプロジェクト終了に向けて(研修の観点から)」と題した表があります。これには終了時である2006年10月までの各サイトの目標が記されていますが、同時に数値で現状レベルも記されています。「現状レベルは個人としてみた数値です」とメモされていますが、この数値は評価の参考として使っても問題ないでしょうか。問題ないようであれば、できれば現時点までのアップデートをお願いできないでしょうか。
4. また同報告書の最後に「2005年3月から2006年2月までのサイト活動状況(研修活動:社会研修、技術研修、起業研修他)コパン県、同レンピーラ県」と題したA4版4枚を張り合わせて大きな表が添付されております。これの現時点までのアップデートはありますかでしょうか。
5. エンパワーメント調査が各サイトで実施され、現在分析中とお伺いしております。担当部からは3つのサイトについての結果を頂いておりますが、分析状況はいかがでしょう。
6. エンパワーメント調査の結果から、各サイトにおけるジェンダーエンパワーメントレベルと実績に相関関係などが認められますか。
7. 6ヶ月ごとに作成が求められている「プロジェクト進捗報告書」の第1号から最新号までいただけますでしょうか。
8. 合同調整委員会のこれまでの議事録をいただけないでしょうか。
9. さまざまな要因がプロジェクトの成否に影響を及ぼしているでしょうが(例えば、アクセス、グループ内の人間関係、リーダーの存在、プロモーターの能力など)、プロジェクトを実施していて、もっとも強い影響を及ぼすと感じられるものから、順にあげていただけますか。
10. あるいは、そもそも「貧困女性」に「起業」を行なわせようとする根本のロジックに問題があるとお考えですか。そうだとすれば、それは上記の9の問題よりも弊害は大きいですか。
11. 主たるカウンターパート機関である PRAF は大統領府直轄組織であり、非常に政治



の影響を受けやすい組織であると思われます。2006年に大統領が交代した後もカウンターパートのメンバーがすべて入れ替わってしまったと聞き及んでいます。プロジェクトの成否ならびに自立発展性に関し、PRAFを主たるカウンターパート機関として選択したのは問題があったとお考えですか。

- 1 2. プロジェクトが形成される前の段階では「小規模起業自体の問題を分析する」という活動があったようですが、それは今のPDMにはありません。どういう理由からでしょうか。
- 1 3. 成果の3「PRAFの機材供与／融資プログラムによって小規模起業が資本化される」は方針が変更になったようですが、その理由はなぜでしょうか。また、それにかかわる融資関係の研修なども行なわれていないようですが、その理解で正しいですか。
- 1 4. 各研修内で、学習事項の理解度や習熟度を測るテストやアンケートなどが実施されているでしょうか（カウンターパートへの研修も含む）。実施されているとすれば、それは集計されて数値などに置き換えられているでしょうか。
- 1 5. 担当部より「事例集」をいただきました。これはいかなる問題が起こり、如何に対処したかの事例ですが、成果の拡大に向けた「グッドプラクティス」の事例集はまとめられていないでしょうか。中間評価報告書には「いくつかのグループでは、研修で習得した技術を自主的にノートにまとめ、マニュアル化するメンバーがいる」と記載されています。うまく進んだノウハウもあればポジティブな評価に役立つのですが。
- 1 6. ガイドラインを作成されていると理解していますが、進捗状況はいかがでしょうか。
- 1 7. 日本側の投入（専門家派遣の人数・時期・期間、研修員派遣、機材供与、ローカルコスト）に計画と実績で際立った差異はありますか。あれば、その理由を教えてください（ローカルコストは費目別に）。
- 1 8. ホンジュラス側の投入に計画と実績で際立った差異はありますか。あれば、その理由を教えてください。また、そのプロジェクト成否への影響はどれほどありましたか。
- 1 9. 特に、中間評価終了後、カウンターパートの増員等を行なわれましたか。
- 2 0. プロジェクトを実施してみて、現場に張り付くカウンターパートは各県1名で良かったと感じられますか。
- 2 1. カウンターパート機関にプロジェクト終了後の人員配置計画はありますか。TGUは存続されますか。
- 2 2. 研修実施およびコーディネーションに関わるカウンターパートの能力は十分に高いと評価されますか。
- 2 3. カウンターパートの中央側は現場の状況を把握するために、どの程度の頻度で現場視察等を行なっていますか。問題が発生したときの対応は積極的、主体的ですか。
- 2 4. 本プロジェクトは「走りながら考えるプロジェクト」という記載があり、当初の計画はあるものの、現状に合わせて柔軟な対応が必要であったと考えられます。そのプロセスを理由付けるために、当初の計画と活動が異なる場合の理由を教えてください。できればPDMの変遷に合わせてお願いします。
- 2 5. 評価用PDMに記載されている外部条件に顕著な変化はありますか。あるとすれば、

それらはプロジェクトにどのように影響していますか。

26. 「起業」を優先するなら「最貧困」のグループは対象にしづらい。「貧困」救済を優先するなら「起業」は容易には進まない。プロジェクトではそこをどのように折り合いをつけることにしたのでしょうか。
27. 「貧困」の何が「起業」を妨げるのでしょうか。
28. 日本の長年の職業訓練のノウハウや戦後の小規模起業支援の経験はプロジェクトで生かされましたか。
29. BCIE の財政支援の現状と展望はいかがでしょうか。
30. PRAF の地方事務所の能力はどのように評価されますか。
31. コパン県に比べ進捗状況が悪いレンピーラ県へのでこ入れは具体的にはどのように行なわれましたか。
32. アクセスが悪いことへの対策としてどのような対応が取られましたか。
33. 中間評価では「専門家の専門性・熱意・意欲・投入のタイミングは適切であったが、専門家の数に関しては、必ずしも適切だったとは言えない」と記載がありますが、ならば今後、専門家に代わるローカルのリソース活用は可能であり、有効であると考えられますか。
34. 供与機材は中間評価時点まで概ね良好な状態で管理されているとありますが、その後現在まではいかがでしょう。
35. 観光庁の資金による作業場建設が行なわれているようですが、サイトごとに金額や内容の詳細について取りまとめは行なわれていないのでしょうか。
36. それ以外の他ドナーの活用についても別途取りまとめされているのでしょうか。
37. 上位目標以外に正・負のインパクトはありますか。



## 6. 主要面談者リスト

### PRAF

Ms. Karen Yamileth Ramírez Rosales	アシスタント・コーディネーター, Di-Mujer
Ms. Iveth Táborá Claros	地域コーディネーター

### INFOP

Mr. Hugo Ricardo Rodríguez	北西部ディレクター
Ms. Dina Patricia Cruz	農作物支援部長

### 女性グループ

#### [Copán]

Jardín de Mujeres Tejiendo Maya Chortí	Copán Ruinas, La Pintada
Mujeres Trabajando por un Futuro Mejor	Copán Ruinas, Agua Caliente
GRUTECA Emanuel	Copán Ruinas, Agua Caliente
Alfarería El Rubí	Santa Rita, Brea
Fé y Esperanza	Santa Rita, El Jaral

#### [Lempira]

TEJPA	La Campa, Tontojo
Nueva Visión	La Campa, Cruz Alta
Bendición de Dios	La Campa, Nueva Esperanza
Superación Femenina	San Manuel Colohete, Casco
El Manantial	San Manuel Colohete, Casco
Pro-desarrollo Chimis Mataras Centro	San Manuel Colohete, Chimis
Mujeres Hacia Un Nuevo Progreso	San Manuel Colohete, El Ciprés

#### プロモーター

Ms. Larissa Jeaneth Castellon	プロジェクト
Ms. Carmen Madrid	プロジェクト
Mr. Frabell Martin Vasquez	プロジェクト

#### レンピーラ県 La Campa 市長

Mr. Nery Orland Reyes Hernandez	
---------------------------------	--

#### World Vision メンバー

Mr. Héctor Manuel Táborá	環境保全マネージャー
Mr. Moisés A. Valverth	商業化ファシリテーター
Mr. José Orland Arita	マネージャー (P/Canal of Esperanza)
Dr. Rene Madrid	地域アドバイザー

Mr. Héctor Diaz M.	コーディネーター
Mr. Alex Edgardo Madrid	商業化ファシリテーター
Ms. Alma Stela Pérez	商業化ファシリテーター
Mr. José Enrique Espinoza	プロジェクト・マネージャー
Mr. Oscar Guillermo Calderón	マネージャー (Gracias)
Mr. Osman Caceres Diaz	マネージャー (Ocatepeque)
Mr. Roger Henriquez L.	マネージャー (Copán)

7. プロジェクト進捗報告書 (2004年3月)

地方女性のための  
小規模企業支援プロジェクト  
進捗報告書

プロジェクトサイトの選定過程

平成16年3月3日

1. プロジェクトの進捗状況
2. プロジェクトサイトの選定過程
3. PRAF の新体制

## プロジェクトサイト選択過程

### I. 調査対象となる市の絞り込み

1. 大統領府 UNAT が作成した貧困地図で、最も貧しいと判断される 80 市を対象とした。この範疇に入る市がコパン県では 23 市中 15 市、レンピーラ県では 28 市中 20 市ある。(参照：市役所一覧表)
2. 専門家が安全に活動でき、活動車両が進入可能でしかもサンタ・ロサ・デ・コパン事務所からの往復時間を加味しても充分活動時間が確保できる地域を対象にした。この条件によりコパン県では 15 市そのまま、レンピーラ県では 20 市から 8 市に絞った。
3. 上記 2 段階を経て絞られた市を貧困度 (栄養失調率、人的資源指数：2001 年 UNDP)、インフラ整備状況 (道路、電気、水)、市の農村プロジェクト実施能力 (予算、人的資源、行政体制) を基に対象市の評価を行った。

貧困度・・・PRAF の方針が“より少なく持つ人により多くの支援を“であるため、貧困度の高い地区を優先した。特にこの基準はより貧困度の高いレンピーラ県で適用した。

インフラ整備状況・・・起業をより容易ならしめたり起業できる業種の幅を持たせるには、ある程度社会インフラが整備されている必要がある。そのため、この条件をより多く持つ市に優先度を与えた。この基準はコパン県で使用した。

市の実施体制・・・予算内の自己資金率の高さ、住民一人当たりの自己予算の額、職員数と農村開発関連の職員の有無で判断材料としたかったが、より貧困の度合いの高い市は予算規模が小さく職員数も少ないことから、農村開発関連の職員を雇用することができず、上記の基準を使うと貧困のより強い市は選択からもれる恐れが十分にあるため、結局この基準は使用しなかった。しかし、上記の調査実施の際、コミュニティーの要望を把握していなかったり、コミュニティーとの関係などで不安を感じる市役所がみられたので、それらは対象リストから外した。

(参照：市役所評価表)

4. 上記“3”の選択を通してレンピーラ県 Lepaera, San Manuel Colohete, Las Flores, Belen, La Campa の 5 市、コパン県 Copan Ruinas, Santa Rita, Trinidad de Copan, Cucuyagua, Dulce Nombre の 5 市が残った。その後、PRAF 側からプロモーターの数に制限がありフォローアップを円滑に行うために(一人のプロモーターがフォローできるプロジェクトサイトを 15 としており、現在コパンに 3 人レンピーラに 1 人いるのみ)プロジェクトサイトを散らすのではなく少なくとも 1 市に 3 プロジェクト



サイトを形成してほしい意向が出された。そのため、各市で調査できるコミュニティーの数を増やすこととなり、調査対象市をコパン県 Copan Ruinas, Santa Rita, Dulce Nombre の3市、レンピーラ県は San Manuel Colohete, Belen, La Campa の3市とした。

#### II. 調査対象となるコミュニティーの絞込み

調査対象6市の中からポテンシャルのあるコミュニティーを見つける方法として、各市役所からの推薦、現地で働く国際 NGO (Solidaridad Internacional, Plan Internacional, CARE, Vision Mundial) からの推薦、地元が存在する既存の資源(水、遺跡、滝、森林、電気、農産物)や小規模企業(黒砂糖、莫蔴、レンガ、乳製品、葉巻、かご)の有無を参考にし、PRAF のカウンターパートと話し合いを通じて最終決定を下した。

(参照: 市役所カード、市管轄地図、コミュニティーリスト)

\* コパン、レンピーラの両県はコーヒーの産地でコーヒー価格の下落が地元経済の沈下につながっていることから、コーヒーを比較的多く栽培している地区からの選択も加味した。但し、コーヒー栽培地という条件は最終的にプロジェクトサイトに1市でも入っているよう配慮すればよいので、市役所選択には使用していない。

#### III. コミュニティ分析調査の実施

各コミュニティーが持つ人的資源、物的資源、社会的資源、文化的資源を中心に調査が行われた。実施主体は契約を結んだコンサルタントで、ワークショップを中心に住民参加型手法による情報収集を行った。

#### IV. 実施対象10コミュニティーの絞込み

コンサルタントによるコミュニティ分析調査の結果及びこれと平行して行った市場調査の情報を基にカウンターパートと話し合った。まず、サイトが離れていれば活動上の支障が感じられるため地理的に近い2市が各県で選定された。その後、女性の生産活動に対する意欲、潜在的な資源の状況、貧困の度合いなどを考慮して10コミュニティーを選定した。

8. 研修実施者・団体名リスト

2005/8/1 プロジェクト作成

No	研修実施者・団体名	形態	社会研修	技術研修	企業研修	プロモーター研修、家族計画、活動グループの夫たちへの研修他	計	形態別の計	備考
1	PRAF 家族支援計画	公の機関	0	2	0	0	2	29	製粉のメンテナンス指導
2	INFOP 国立職業訓練庁	公の機関	1	17	7	1	26		INFOP S.P.S INFOP S.P.S (S.V) INFOP, La Paz INFOP/Gracias
3	CICAI 国立民族訓練所	公の機関	0	1	0	0	1		織物指導
4	FPX (FHIAが支援)	NGO	0	9	0	0	9	37	グアバの定期指導
5	OCDIH	NGO	0	6	0	0	6		養蜂の定期指導
6	ODECO	NGO	1	0	0	0	1		社会研修講師派遣
7	AESMO	NGO	0	7	0	0	7		養蜂の定期指導
8	ASONOG	NGO	4	0	0	2	6		社会研修講師派遣
9	CARITAS	NGO	0	1	0	0	1		飴製造の指導
10	Elmer Chavez (Instructor de ASOHNPLAFA)	NGO	0	0	0	1	1		家族計画講師派遣
11	Misionero Billy	NGO	0	3	0	0	3		傾斜農法などの技術支援
12	Solidalidad Internacional (スペイン政府が支援)	NGO	0	0	0	1	1		同NGOが支援するグループへシャクレタの指導員をプロジェクトから派遣
13	Valle de Copán (観光庁が支援)	NGO	0	2	0	0	2		シルクスクリーンのデザイン研修
14	Proyecto 日本人	日本からの派遣	1	10	3	3	17	17	長期専門家 短期専門家 シニアボランティア (SV) 協力隊短期派遣 (JOCV)
15	Proyecto ローカルスタッフ	プロジェクトスタッフ	23	33	19	4	79	79	プロモーター 技術スタッフ ローカルスタッフ
16	Agua Calienteパン企業グループ	プロジェクト支援により事業を開始したグループ	0	1	0	0	1	2	Carrizaronのパングループへパン製造指導
17	Cruz Altaパン企業グループ	プロジェクト支援により事業を開始したグループ	0	1	0	0	1		Buenos Airesの養蜂グループにパン製造を指導
18	Don Santiago (陶芸)	企業家	0	1	0	0	1	11	技術指導
19	Elisa Evaceda (Por Venir/陶芸)	企業家	0	1	0	0	1		技術指導
20	Eugenia Rodriguez (Togopala/織物)	企業家	0	0	0	1	1		技術指導
21	Yiny Maria (菓子業)	企業家	0	1	0	0	1		技術指導
22	Jose Felipe Gomez (農業)	企業家	0	1	0	0	1		技術指導
23	Luz Maria 洋裁	企業家	0	2	0	0	2		技術指導

No	研修実施者・団体名	形態	社会研修	技術研修	企業研修	プロモーター研修、家族計画、活動グループの夫たちへの研修他	計	形態別の計	備考
24	Marvin Vallecillos シルクスクリーン	企業家	0	1	0	0	1		技術指導
25	Reina Sanchez シルクスクリーン	企業家	0	1	0	0	1		技術指導
26	Rigoberto Benitez 農業	企業家	0	2	0	0	2		技術指導
27	Colegio: 研修生	研修生	0	0	0	1	1	1	生活改善指導
28	CRECERH	コンサルタント	4	0	0	0	4	5	社会研修講師派遣
29	Ing. Francisco Gil	コンサルタント	0	1	0	0	1		技術指導
			34	104	29	14	181	181	

## 9. プロジェクトが実施している研修の評価の考え方

(小田桐専門家作成)

研修評価の考え方：

- 研修受講者が小規模事業を開始・運営するための能力（知識・技能）を取得できたかどうか評価するものとする。
- 研修受講者が、事業を良好な状態で持続するための能力を取得できたか評価する。
- 受講者が、必要な能力を補強できたか、評価する。

研修評価方法：

①研修目標の達成率、②理解度テスト結果、③講師評価、④. 研修受講者による自己評価（研修を通じて学んだこと、満足度など）などを、各グループの状況、研修内容などに合わせ評価する。

プロジェクトでは、状況に合わせ I. 社会研修、II. 技術研修、III. 起業研修他の研修を組み、起業に必要な技術、知識、能力の習得また、起業後の持続的な事業を展開するためのフォローアップを図ろうと考えている。

### 1. 社会研修

社会研修によって、個々人の内面の確認・開発をねらっている。また、共同作業をする際の心構えや、問題発生時の解決の道筋を考える力を養うなどし、良好な事業運営の社会的能力を得ることを目的としている。実際の社会研修の評価は、研修後の活動への参加度などにより評価できる。

(参考研修評価事例)

- (1) プロモーター研修 研修名：社会研修手法  
評価指標： 満足度 (参加者による自己評価)
  - (2) Carrozalon 村で実施した社会研修：AUTOGESTIMA (自己評価) の研修結果  
評価指標： 講師からの評価
  - (3) Chimis 村で実施したプロジェクトプロモーターによる社会研修：AUTOGESTIMA (自己評価) の研修結果  
評価指標： 満足度 (参加者による自己評価)
- プロジェクトでは、社会研修後ほとんどの講師に受講者への研修満足度アンケートの実施をお願いしており参加者の多くは研修参加に満足している結果がでている。
  - プロモーターが社会研修講師として活躍しており、すでに十数回実施している。

### 2. 技術研修

技術研修は、事業開始のために必要な技能・知識を修得し、彼女ら自身により商品を生産できるようになることが目標となる。現在は、品質向上研修や新製品製作のためのフォローアップ研修も開始している。これら技術研修の実施の評価は、作業工程の確認や機械の操作法、できた商品の質などからも判断できる。

短期専門家が派遣された分野は、飛躍的な製品品質・デザインの伸びが見られそれ以降、現在に至るまでこれらの分野（業種）には技術研修を実施していない。今後、新製品開発などでは技術研修を組み込むことが考えられるが、グループ内からの要望、プロモーターの定

期訪問視察の結果を待ち今後の技術研修計画を組みたい。

(参考研修評価事例)

(1) ミシン研修

評価指標：講師による確認評価。

(2) グアバ研修（(定期巡回指導が中心)

評価指標：講師による重要ポイント確認評価

- 2006年に入り、会計研修（企業研修）や技術補完・補強研修タイプの実施件数が増えており、起業のための基本的な技術研修実施の必要性は低くなっている。

### 3. 企業研修

本研修分野は、実際に事業運営に必要な知識を習得することにある。これらの知識・技能習得の表れとして、事業運営が良好に行われているか確認することが望まれるため研修により習得した知識で、必要な事業運営に必要な書類が整い使われているか評価の確認事項としたい。

(参考研修評価事例)

(1) 会計・経理研修

評価指標：経理研修における各グループの実践度合い調査表（戸崎短期専門家作成）

- 以前は、INFOPの講師にお願いしていた上記研修ですがプロジェクトローカルスタッフが、この研修手法を習得し、この研修に、あたることも多くなってきている。

以上

## 10. カウンターパート研修及び支援機関への研修実績

(小田桐専門家作成)

### 1. PRAF 本部

C/P-①： Di-Mujer 事業部長（1名）

2003年11月よりC/P（PRAF側実施サイドの長）としてDi-Mujer事業部長（Waldina Lizeth Castro Oyuela）が配置されプロジェクト事業活動を開始した。これに際しプロジェクトは、同ポジション能力強化のため本邦研修を計画し、本部申請、実施した。しかし2006年3月の政権交代により同部長は更迭、現行の事業部長（Mirtha Carolina Maradiaga）が配置され、現在に至っている。

プロジェクトは、旧事業部長に対し、能力強化のため以下の本邦研修を計画し実施した。

研修コース	研修実施機関	研修期間	参加者	研修目的	研修の効果
平成16年度 集団研修 (第5回) 女性起業家 育成のため の指導者セ ミナー	JICA 東京国際 センター	2005/2/8 から 2005/3/13 までの34 日間	Waldina Lizeth Castro Oyuela	日本における女性の小規模企業支援活動の状況を視察研修することにより、知り得た知識、手法、情報を任国における実際の活動に反映させ、任国にとって、より効果のある起業支援活動が実施される。	以前よりは、プロジェクト事業活動への関心、参加の度合いは増した。しかし、研修で得た知識、手法を新たに使った活動はみられない。

C/P-②： Di-Mujer Supervisor（2名）

Di-Mujerは、プロジェクトC/Pとして2名のSupervisor（マイクロクレジット担当：Javier Ramirez、マーケティング担当：Rene A. Murillo Torres）を配置した。これらC/Pに対しプロジェクトは担当分野の能力強化のため、南米で小規模起業に関する第三国研修を受入れているチリ国での研修を計画、申請、実施した。しかし、これら2名のC/Pの内、マーケティング担当は2006年3月、政権交代で解雇され、現在このポジションの配置はない。

プロジェクトは、Di-Mujer Supervisor（2名）の能力評価のため、以下の研修を計画・実施した。

研修コース	研修実施機関	研修期間	参加者	研修目的	研修の効果
マーケティング及び マイクロファイナンス	チリ社会連 帯基金 (FOSIS)、 JICAチリ 事務所	2005/3/5 から 2005/4/4 までの31 日間	マクロクレ ジット担 当：Javier Ramirez、マ ーケティング担当： Rene A. Murillo Torres	任国で行われているマイクロクレジット及びマーケティングの実際、手法、技法を知り、ホンジュラスにおける彼らの活動内容に改善が図られ、活動に使用される。	マーケティングについては、PRAF主導で商品カタログを作り始めるなど成果がみられた。

### 2. プロモーター（プロジェクト雇用 3名、PRAF 1名の計4名）

本プロジェクトのように、地方に住む女性たちに対し、起業のためのグループ化の働きかけ、収入創出のための活動サポート、良好な状態で事業を持続するための定期的な訪問、聞き取り、アドバイス作業、また、時にはグループ内の問題解決のために適宜的確な判断で行動することなど、プロモーターの力量はプロジェクトの進捗に大きく影響する。

これまで、プロジェクトでは、プロモーターを対象に以下の、研修を実施しプロモーターの能力向上にあたってきた。

- ファシリテーター養成研修 2005年2月14日から4日間  
研修委託先 ASONOG (社会研修には定評がある)
- 社会研修(自己評価と動機付け) 2005年3月28日 1日間  
研修委託先 ASONOG (社会研修には定評がある)
- 小規模起業に関する知識・実際の習得 2005年10月31日から5日間  
研修委託先 INFOP

結果として、何人かのプロモーターは、対象グループへ社会研修を実施できるようになり、2005年5月を皮切りに現在まで、17回の社会研修を実施。グループのモチベーションを高める努力をするなど良好な事業運営のためグループへのバックアップ作業を行っている。これは、研修の成果の現われと見ることができる。しかし、小規模起業を支援した経験を持つプロモーターは、少なくプロジェクトの活動を通して、起業・事業運営のノウハウを身につけている。

これまで、プロモーター及びローカルスタッフが実施した社会研修

社会研修：コパン県	社会研修：レンピーラ県
・自己評価 ・リーダーシップ など、12回	・自己評価 ・動機付け など、5回

### 3. 他支援機関への研修実施

#### (1) INFOP

研修実施の際に、講師派遣などで協力してもらっている INFOP (プロジェクト支援機関) プロジェクト関係者への能力強化活動として、2006年1月31日から2006年2月18日まで、本邦集団研修(地域別研修中米・カリブ職業訓練向上セミナー：訓練管理)へ、INFOP サンペドロスーラ校(プロジェクトへの講師依頼はこの学校が中心)の起業セクション講師 Esperanza Yesenia Eufragio Murillo を推薦し、支援機関能力強化の一環として実施した。

#### (2) AESMO (養蜂飼育でプロジェクトに協力している NGO)

養蜂の技師をプロジェクト活動支援のため派遣してくれている AESMO の代表 Victor M. Saravia 氏は、有機農法及び生活改善分野での能力向上のため、2005年10月から2ヶ月間、JICA 集団研修を本邦で受けのち、さらにパナマで1ヶ月間の実施研修を受けこの分野での力をつけた。

JICA 事務所よりの連絡では、本邦研修フォローアップ事業の一環として、同氏は、オコテペケ県ベレングアルチョ市で、日本で学んだ手法を、この地で指導することになっている。

以上

11. グッド・プラクティス事例集

(プロジェクト 九笹専門家作成)

	項目	事例内容	ポジティブ面
1	減価償却費を支出の中に含めた形で、採算を合わせている。	ホンジュラスで小規模起業を実施している機関では普通、減価償却の考えを導入していない。自立的な起業を求める当プロジェクトでは生産活動が開始されたときから減価償却の考えを導入した。また、減価償却を加えてもほとんどの企業では黒字を出している。	一般にホンジュラスで行われている援助では減価償却の考えを導入していない。企業の安定した運営には投資された資金の支払い抜きには考えられない。そのため、減価償却の導入に関心を示すドナーが出てきている。
2	社会研修をプロジェクトスタッフが行った。	女性グループの組織を強固にするために社会研修を行ってきた。当国では研修を行うのはコンサルタントと分業体制ができていますが、研修評価の結果コンサルタントの研修結果が思わしくないことが解った。そのため、現地スタッフに研修をし、直営の研修を行う形態に切り替えた。	結果は(1)安価である(2)対象女性がスタッフを知っておりしかもスタッフも女性たちを知っている。そのため、導入部でラポールにそれほど時間をかける必要もなく研修が円滑に進み、女性の理解も深まり、研修効果も高くなった。
3	3つのグループが教師として他のグループの研修を行った。	レンピーラ県で製粉業を開始したグループに対して、コパン県で既に同業種を行っているグループのメンバーが研修を行った。女性同士が水平に並び研修者と被研修者の図式ではないため、研修を受ける女性が遠慮せずになんでも質問できた。また、男性の職種と思われている製粉業を慣れた手つきで機械を扱う女性を見て、自分たち(女性)でもできると自信を持つことができた。	(1)研修効果は研修を専門にする人より高い。(2)研修を通して技術面だけではなく他のコミュニティや他のグループの様子を知ることができた。(3)事業を行うために必要な経理知識や注意すべき事項も同時に学ぶことができた。
4	Brea で脱退した人たちが自分たちの企業を作った。	内部の人間関係の綻れから3名の女性が脱退した。技術的に優れた人たちであったため、自分たちで新しい会社を作り、外部機関の援助を受けて機械を導入した。	グループが分裂したのは残念であるが、当プロジェクトの支援を受けて技術を身につけた女性が、自ら動いて援助を手に入れ会社の設立にこぎつけたことは、プロジェクト活動の波及効果である。
5	SAGが当プロジェクトの活動評価の方法の導入を表明した。	サイト見学で現地を訪れた農牧省のスタッフとの会議で、当プロジェクトで使用している様式や評価システムを見て是非SAGでも導入したいと希望が出された。SAGでは5年間で100の小規模企業を作ることが義務付けられているが、業務の進展が遅滞している。それにもかかわらず、活動計画ができておらず、導入の方法も持っていないのが現状であった。	(1)プロジェクトがまとめる予定にしているガイドラインがいかにも価値のあることが認識できた。(2)トータルなシステムだけではなく、パーツでも他機関が導入したいものをプロジェクトが有していることがわかった。
6	OcotepequeのVision Mundialがグアバ栽培を導入したいと、プロジェクトサイトを訪れた。	オロミナス村で栽培しているグアバは2006年3月から本格的な収穫を向かえ、グラシアス市を始め近隣地域で販売を促進したことから、レンピーラさんのタイグアバが広く知られるようになった。また、収益率も高いことからVision Mundialが興味を示し、Ocotepequeに同種の導入を計画している。	プロジェクトが行った業種が他機関にも注目され導入が計画されている。これは、当プロジェクトが上位目標で掲げている『他地域で同様のアプローチが実施される』を達成したことを意味する。